



## 胃ろう食を実施している方へ



### 胃ろう食とは

経口食をミキサー等で粉碎し、とろみをつけ半固形の流動状態にしたものを横浜療育医療センターでは胃ろう食と呼んでいます。

### 目的

口から食べる食事は歯で噛みすりつぶし半固形状態で胃に到達します。胃ろう食の利点は経管栄養者(胃ろう)にも、ごはんを口から食べた時に近い状態で栄養を胃に入れることができます。胃ろう食は自然に近い形で 栄養がとれ、ご家族と一緒にお食事を楽しむことができます。 便通がよくなったり皮膚状態が改善されたりすることもあります。また、とろみは胃食道逆流を予防することが期待できます。

### 横浜療育医療センター 胃ろう食実施方法の紹介

胃ろう食の量	注入の方法
胃ろう食100ccの場合 (100kcal)	胃ろう食以外の水分を先に注入 1回で100ccをゆっくり注入
胃ろう食200ccの場合 (200kcal)	胃ろう食以外の水分を先に注入 1回目 100ccをゆっくり注入 5分程あけて 2回目 100ccをゆっくり注入
胃ろう食300ccの場合 (300kcal)	胃ろう食以外の水分を先に注入 1回目 150ccをゆっくり注入 5分程あけて 2回目 150ccをゆっくり注入

水分注入は胃ろう食の前に行うことで、胃・腸の動きが良くなるという見解をもとに実施しています。ご家庭での胃ろう食の実施状況をお聞かせて頂いた上で調整し、できる限り上記の方法で行えるようにしたいと思います。

